

LIXIL アーキレールステンレスラッピング笠木仕様 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

注意事項や取付方法等については、アーキレールの取付説明書〈C398〉をあわせてご参照ください。

■梱包明細表

【1】ステンレスラッピング笠木

名 称	略 図	員 数		
		端部用	中間用	中間 2スパン用
笠木		1	1	1
溝ふさぎ材B		1	1	2
取付説明書〈C407〉	—	1	1	1

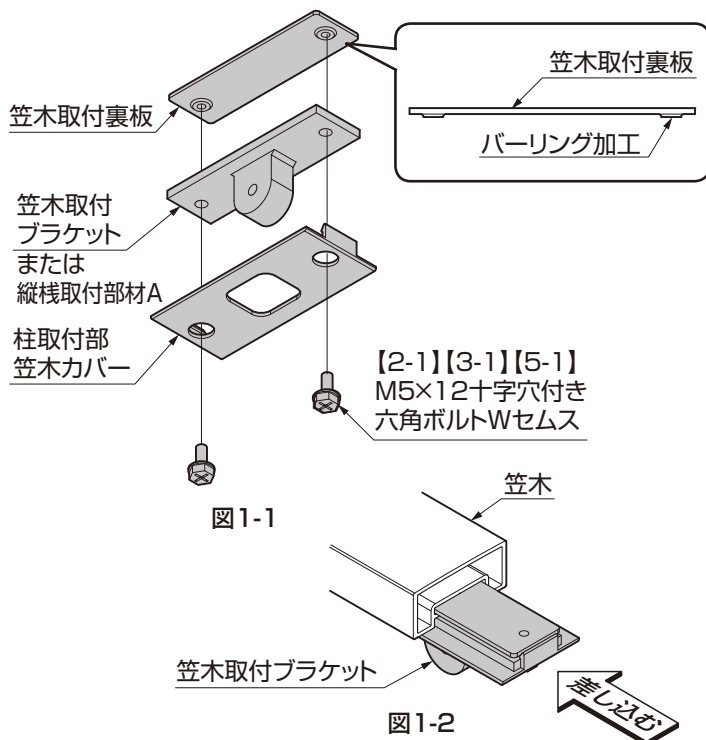
【2】柱取付部カバー

名 称	略 図	員 数
柱取付部笠木カバー		2

【3】笠木切断部カバー

名 称	略 図	員 数
笠木切断部カバー		4
φ4×13サラドリルネジD=6		8

1. 笠木取付ブラケットの仮組立



① 笠木取付ブラケットと柱取付部笠木カバー、笠木取付裏板を、【2-1】、【3-1】、【5-1】で仮組立してください。このとき、笠木取付裏板のパーリング加工側が、笠木取付ブラケット側にくるようにしてください。

⚠ 注意

● 必ず柱取付部笠木カバーを取付けてください。取付けなかった場合、ステンレスラッピング材の端部でケガをするおそれがあります。

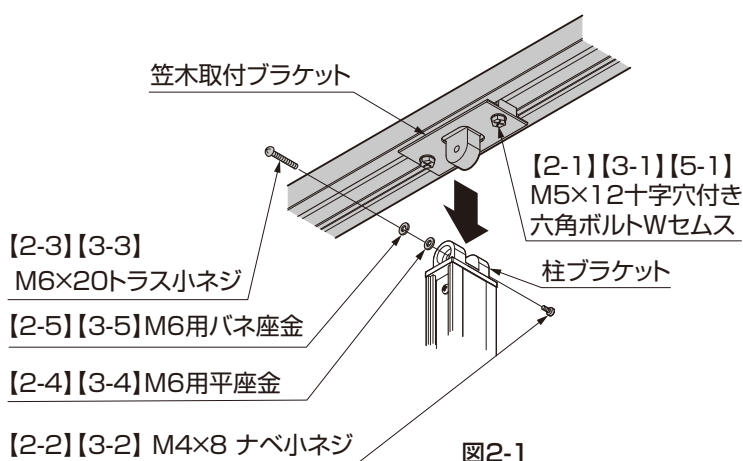
② 笠木に仮組みした笠木取付ブラケットを差し込んでください。

🔑 ポイント

● 縦棧を取付ける場合も柱取付部笠木カバーを取付けてください。

2. 笠木の固定

2-1 柱仕様の笠木固定



✎ 補足

● 笠木の切断は、アルミ形材用切断機を使用してください。

● 笠木切断後、アーキレール取付説明書〈C398〉P26「1-1 笠木の切断」項を参照し、笠木に穴加工を行ってください。

● ネジ番号は、アーキレール取付説明書〈C398〉の梱包明細表をあわせてご参照ください。

🔑 ポイント

● オプションの縦棧を取付ける場合、笠木固定の前に、あらかじめ部品を取付けておく必要があります。「9. 縦棧の取付け」項をあわせてお読みください。

① 柱ブラケットに、笠木に仮組立を行なった、笠木取付ブラケットをのせた状態で、【2-3】、【3-3】、【2-4】、【3-4】、【2-5】、【3-5】で組付けてください。

② 【2-2】、【3-2】を締め込んでください。

③ 【2-1】、【3-1】、【5-1】を締め込み、笠木を完全に固定してください。

2-2 壁付け仕様の笠木固定

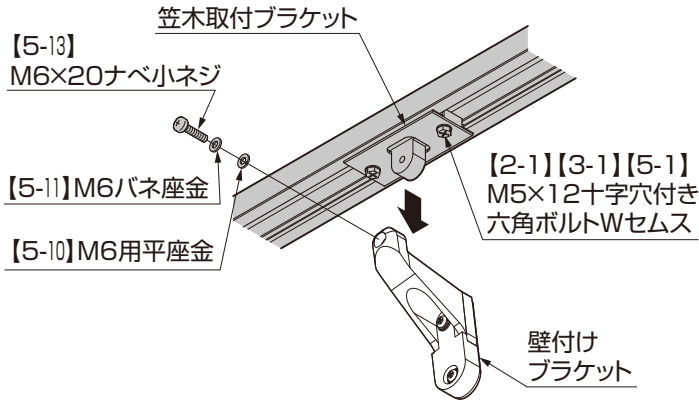


図2-3

- ① 壁付けブラケットに、笠木に仮組立を行なった、笠木取付ブラケットをのせた状態で、【5-10】、【5-11】、【5-13】で組付けてください。
- ② 【2-1】、【3-1】、【5-1】を締め込み、笠木を完全に固定してください。

補足

- 【5-9】および【5-12】は使用しません。

3. 笠木切断部カバーの取付け

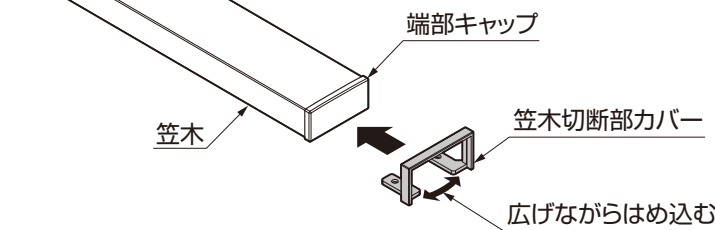


図3-1

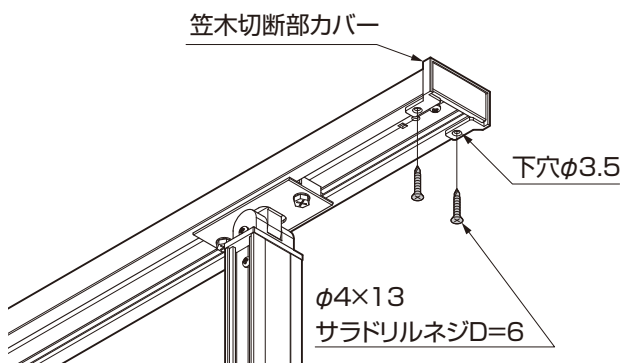


図3-2

注意

- ストレートジョイント取付部以外のステンレスラッピング笠木の端部には必ず笠木切断部カバーを取付けてください。取付けなかった場合、ステンレスラッピング材の切断部のバリ等でケガをするおそれがあります。

- ① ステンレスラッピング笠木の端部と端部キャップや傾斜・傾斜コーナージョイントなどの組合せ部に、笠木切断部カバーを広げながらはめ込んでください。(図3-1参照)
- ② 笠木切断部カバーの穴にそって、ステンレスラッピング笠木にφ3.5の下穴をあけ、φ4×13サラドリルネジD=6で固定してください。(図3-2参照)

ポイント

- ストレートジョイント取付部の笠木端部には、笠木切断部カバーは必要ありません。
- ステンレスラッピング材に直接ドリルネジで穴をあけることはできません。必ず下穴をあけてからφ4×13サラドリルネジD=6で固定してください。

4. 溝ふさぎ材Bの取付け

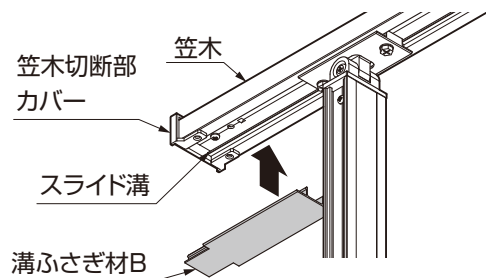
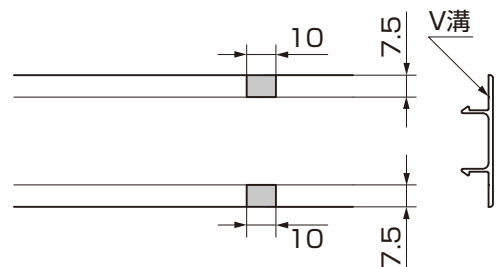
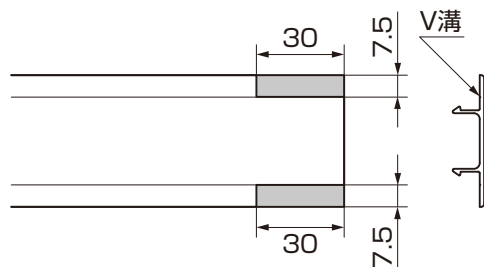
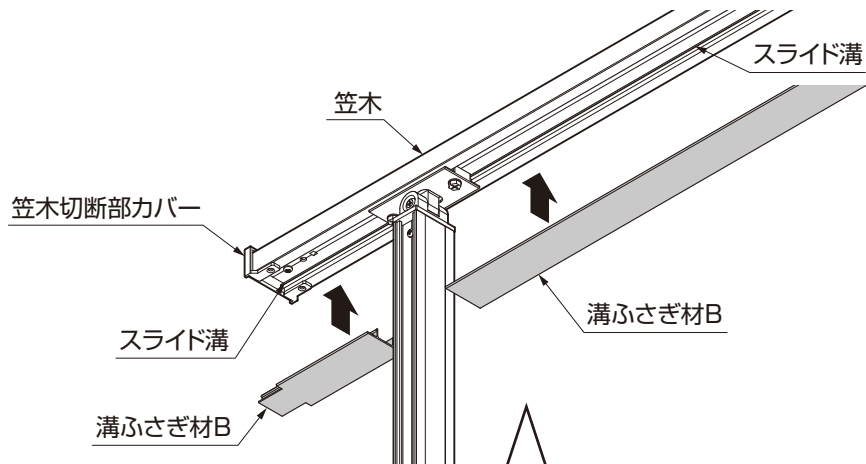


図4-1 笠木切断部カバー部の場合

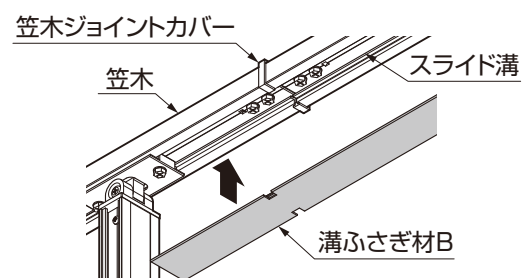


図4-2 ストレートジョイント部の場合

⚠ 注意

- 溝ふさぎ材Bは、ステンスラッピング材の端部によるケガを防止する部材です。必ず取付けを行なってください。

- ① 溝ふさぎ材Bを、すき間がない長さに切断してください。
- ② 切断部カバー部、ストレートジョイント部にあわせて、溝ふさぎ材BをV溝にそって切り欠いてください。(図4-1、図4-2参照)
- ③ 溝ふさぎ材Bをステンスラッピング笠木下面のスライド溝にはめ込んでください。

✎ 補足

- 溝ふさぎ材Bは樹脂製です。樹脂切断が可能なノコギリまたは大型のハサミ、ニッパー等にて加工してください。
- 溝ふさぎ材の加工後、加工した端面等にバリ等が残らないよう、ヤスリ等で仕上げてください。

取説コード

C407

JZZ621877C
201101A_1041
201607D_1039